

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 1 月 30 日 公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		個々の特性や課題によって、個室やバージョンの利用を合った空間を利用するようにしています。	COMPASS の特徴の一つが言語療育に特化していることなので、集中しやすい環境づくりに配慮して参ります。
	2	○		法令で定められた以上の人員配置で対応しており、その全員が有資格者です。	今後も継続し適切な配置に努めます。
	3	○		現時点では車椅子を利用する児童の受け入れはありませんが、室内に段差がなく、机を移動し、車椅子での移動に問題が無い環境に変更しました。	生活空間は児童にわかりやすい構造になるように配慮していますが、今後も個々の特性に応じた過ごしやすい環境であるように工夫して参ります。
	4	○		清潔を保つよう配慮し、療育開始前や終了後に教材の清掃、指導室、トイレの清掃と除菌を行っています。	今後も同様に心地よさと清潔な空間の維持に努めて参ります。
業務改善	5	○		常勤、非常勤を問わず全職員が業務に関する課題を出し合い、改善策を話し合う環境づくりに努め、話し合いの機会を設けています。	今後も定期的に会議を開き、共通認識、意思統一の徹底を図り、職員間の意見交換を行い、より良い療育を目指します。
	6	○		定期的にアンケートによる評価を実施しています。	今後も全職員で共通認識を持って業務改善に取り組みます。
	7	○		保護者様からの評価、並びに事業所の自己評価の結果は、COMPASS の公式 Web サイトで公開いたします。	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行なって参ります。
	8	○		各種部会等の会合で他事業所から助言を頂いていますが、現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
	9	○		事業所内研修など資質向上のための勉強会は定期的に行っています。また外部研修への積極的な参加、参加し学んだことは全職員に周知、共有できるように更に内部研修を行っています。	今後も積極的に酸化し、研修機会の確保に努めます。
適切な支援の提供	10	○		児童と保護者様のご意向をうかがい、相談支援事業所や学校等と定期的な連絡や担当者会議を行い、総合して必要な課題を検討、見直しを行い支援計画を作成しています。	今後も定期的なアセスメントを行い、児童の現状や変化を踏まえ、方向性を考えていきます。
	11	○		モニタリング時には統一されたアセスメントシートを使用し、状況を把握し、保護者様のご意向も確認しています。	今後も継続して、正確にアセスメントできるように病院や関係機関の診断、発達検査結果等も取り入れて行きます。
	12	○		保護者様との面談で吸い上げた情報と事業所での児童の状況に基づき、ガイドラインに示された項目から支援内容からその児童に必要な項目を適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	今後も継続してガイドラインから必要項目を選択し、適切で具体的な支援内容になるように努めて参ります。
	13	○		支援計画は支援に携わる職員全員が周知し、計画に沿った支援を行なっています。	今後も支援計画に沿った支援が行われるように努めて参ります。
	14	○		支援計画をもとに全職員で意見を出し合い立案しています。	今後も計画に沿った支援が行われるようチームで立案を行なって参ります。
	15	○		児童の特性に合わせながら、季節感のある生活体験活動を行いました。季節の制作や行事は、成功体験を得られやすいよう配慮し、また行事や伝統が児童にわかりやすい形で伝わるよう配慮しています。	児童の希望も取り入れて、平日の連続した活動だけでなく、今後は長期休みでのイベント、季節ごとの行事や制作も取り入れ、活動に変化をつけていきます。
	16	○		午前中に個別活動、午後は集団活動と適宜支援計画や児童の状況を把握しながら、その計画に合った活動を選択しています。	その児童に必要な活動内容であるか十分に勘案し支援計画を作成してきます。
	17	○		前日の振り返りを元に、支援開始時に打ち合わせを行い、役割分担の確認を行っています。	今後も、当日の流れ・支援内容や、役割分担についての情報共有の上、支援に取り組んでいきます。
	18	○		支援終了後、全職員への周知が難しい場合は、翌日のサービス開始前に支援内容の振り返りを必ず行い、情報共有をしています。	今後も報連相を守り、どんな小さなことでも意見を出し、全員で討議し、振り返りを行って参ります。
	19	○		毎回活動の記録を取り、情報共有の上支援に繋げるようにしています。	今後も継続して記録を残し、検証や改善に繋げていきます。
20	○		定期的にモニタリングを行って、目標の達成状況等を保護者面談にて詳しくご説明しています。保護者様のご意向をお聞きして、児童の現状を考えた上で、見直しや今後の方向性を定めています。	今後も定期的なモニタリングを行って、現状把握や、見直しを行う必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児発管と、その児童と関わりの深い職員が同行しています。	今後も同様に継続して参ります。
	22	○		地域とのつながりを大切に、保育園、幼稚園とも密に連携を図り、必要に応じ、児童の様子や日々の支援について情報共有し支援を行っています。	今後も関係機関との関わりを継続し、連携した支援ができるよう努めて参ります。
	23	○		現時点では医療的ケアが必要な児童のご利用はありません。	今後、対象児童が利用することになった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えらるよう検討して参ります。
	24	○		現時点では医療的ケアが必要な児童のご利用はありません。	今後、対象児童が利用することになった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えらるよう検討して参ります。
	25	○		情報共有出来るように保護者、幼稚園、事業所で連絡ノートのやり取りを行い、相互理解を図っています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図って参ります。
	26	○		現時点では対象の移行支援が必要な児童はありません。進学先へ必要に応じて連絡をとり、保護者様と交流関係機関と情報共有を図れるよう努めます。	新入学を控えた対象児童もいるため、小学校と情報共有と相互理解を図り、スムーズな移行支援ができるよう努めます。
	27	○		積極的に地域の各種会議や研修に参加して学びの場を確保しています。	今後も助言等を受け、研修にも積極的に参加して参ります。
	28	○		長期休暇には図書館や公園、児童館等を訪問し、地域の子供達と関わる機会を設けました。	保護者様のご意向をうかがいながら地域児童との交流の機会については今後も検討して参ります。
	29	○		職員の資質向上を図る観点から出来る限り複数職員の参加を心掛けています。	今後も同様に積極的に参加して参ります。
	30	○		連絡帳や送迎時にその日の療育内容や児童の様子をお伝えし、保護者様からはご家庭での様子や聞き取り、情報共有に努め、課題を探り、療育に役立てています。	今後も同様に共通理解に努めます。
保護者への説明責任等	31	○		保護者様との日常的な会話の中で、ご相談を受け、児童との関わり方について助言を行っています。	今後もご家族への支援に努めます。
	32	○		契約時に重要事項説明書や利用契約書を通して詳しく説明を行い、納得して頂いています。	今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけて参ります。
	33	○		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向、利用児童の課題のすり合わせを行い、十分説明を行った上で保護者様より理解を得ています。	今後も同様に、ご意向や児童の状況に応じ作成した支援計画について丁寧にご説明に努めます。
	34	○		保護者様のお話を丁寧に聞き、事業所での対応事例をお伝えし、また職員間で話し合い、保護者様へ助言を行っています。	今後も同様に対応して参ります。
	35	○		参加型の行事を企画し、保護者様同士の交流の機会を作りました。	ご家庭によっては、通所を秘密にしておきたい場合も有る為、保護者会に関しては十分配慮して企画を検討して参ります。一方、保護者参加の親子行事の企画などを検討し、保護者様同士の交流を深められるよう、支援に努めて参ります。
	36	○		現在までに、厳しいご意見や苦情等を頂いたことは無く、対応の機会はありませんでした。	ご意見や苦情の連絡先は契約時や掲示物でお知らせしており、今後ご意見を頂く場合には迅速丁寧に対応するように体制を整えております。
	37	○		公式 Web サイトのブログで事業所の様子をお伝えしている他、節目で情報は発信しており、学期の節目で季刊誌を発行しています。	今後も継続し、保護者様へサイトのご案内も行なって参ります。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している。	今後も、保護者様に同意を得た場合に限り関係機関へ情報を伝えることとして決めて漏れないように、細心の注意を払って参ります。
	39	○		児童の特性に合わせ、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思の疎通を図っています。保護者様にも伝え方や対応について出来る限り相手の立場に立った配慮を行っています。	今後も情報伝達やスムーズに行えるよう意思疎通と連携に配慮して参ります。
	40	○		地元の老人クラブの方との交流が出来る機会を設けました。	保護者様のご意向をうかがいながら療育に影響のない範囲で企画・運営の検討を行って参ります。
非常時等の対応	41	○		わかりやすいよう、入り口付近にマニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	今後も周知を継続して参ります。
	42	○		定期的に児童も参加しての訓練を行い、災害に備えています。	今後も継続して定期的に訓練を行って参ります。
	43	○		事前に、服薬や発作等の情報について聞き取りを行って参ります。情報を全職員が把握して緊急事態に適切な対応が行えるよう配慮しています。	今後も、同様に対応して参ります。
	44	○		現在、食物アレルギーのある児童の情報も全職員で共有し、万が一の場合には医師の指示に基づく対応が行えるよう徹底しています。	医師の指示を順守し、周知を徹底し、都度振り返り食物の提供を行う場合は細心の注意を払い参ります。
	45	○		都度、記録を残し、ヒヤリハット報告書は全職員で閲覧し確認、共有、検証を行っています。	事故はほんの少しの油断から起こりえる事象なので少しでもヒヤリとした場合は報告書を作るよう心掛けて参ります。
	46	○		外部の虐待防止の研修には必ず参加し、参加した職員が事業所内研修で周知を行っています。	今後も虐待防止への研修や討議は続け、研鑽に努めて参ります。
	47	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するためにはやむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ることにしております。	基本原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず、身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様からの同意を得るよう図って参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。